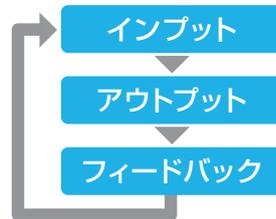


今の試験は

計画・法規の理解度が重要視されている!

「建築/構造/設備計画」と「法規」の 確かな知識と作図技能の習得が必須!

令和2年度試験の不合格者の解答状況について、
試験元は「ゾーニングの不適切」「法令の不適合」を挙げており、
このことから建築士としてあるべき実務レベルの力が求められていることがわかります。
当学院では、建築計画はもとより、法令、構造、設備を含めた実務的かつ
具体的な要求に対応するための「原理・原則の理解(インプット)」と
それを踏まえた「実戦(実務)で通用する知識・技能の習得(アウトプット)」を徹底!
さらにアウトプットの結果をわかりやすくフィードバックします。



今の試験は

一つの間違えが不合格要因に!

ミスをなくす フィードバックの「質」が 合否を分ける!

合格発表時に公表される採点結果区分「ランクI(合格)、ランクII~IV(不合格)」の割合からみると、
近年、合格に最も近いとされるランクIIは大幅に減少、ランクIII・IVは増加傾向にあります。
このことから、一つのみすがか不合格に直結する、より厳格な試験になっていることがうかがえます。
当学院では、各講義で用いるオリジナル課題や模擬試験の出来具合を細かくチェック!
間違いの経緯から原因まで突き詰めたうえで、ミスを正し、弱点を補強します(フィードバック)。



✓ 課題チェックシート

誤った認識や実力不足の項目を明確化!

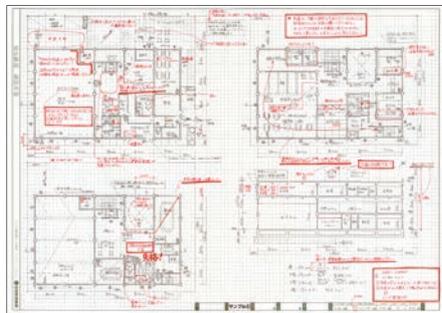


細分化されたチェック項目で法規をはじめ、建築計画や設備・
構造計画等の出来具合を判定。今後の試験のさらなる厳格化に
備え、採点基準等も改定・強化!

徹底強化!

✓ 添削指導・対面指導

チェックシートを元に細かく添削! + 対面で
具体的に改善方法を伝授しミスを根絶!



グループ交換採点実習



一番大事なのは本番でのチェック力!
その力を養うために他の受講生と交換採点を行い、
自分では気づけないミスを抽出し合います。
自分以外の考えや誤りも
経験値にすることができるので
高い学習効果を得ることができます。